

CHEVY COUNTRY

WELCOME TO

HEARTS VILLAGE

アメ車と遊びにまつわる狂想曲。



発行: HEARTS RIZING 監修: 財研 株式会社

※U.S.CAR※
KUMAMOTO SIMONA BASE
SUV&TRUCKIN'

一緒に死ぬ覚悟

夢を叶える相方と。

池田秀人という男について。

「HEARTS RIZING」代表の山本です。いつも我々の情熱を真摯に受け止めて頂くと同時に「ご愛顧頂き、この場を借りて御礼を申し上げます。」

ハーツは俺だけのものじゃない。お客様、そしてスタッフあつてのハーツである。今まで10年もの間ハーツが永續しているのには、いろんな要因がある。その中で、大きなキーとなる人物、それが「池田秀人」である。彼はハーツのもう一人の代表であり、私にとって夢を叶えるために必要不可欠なパートナーだ。これはマジな話、この男なくして今のハーツは語れない。

「商売とは、人柄

「やで！」とは、大阪のお好み焼き専門・千房の中井社長の言葉だが、それそのものを体現している身近な男こそ池田だと思ふ。彼ほど、真に優しい人柄の持ち主に出会ったことがない。何をやるにしても、紳士的かつ温かみがある。そして、笑顔を絶やさない。彼と10年近く付き合っソバで見て思うのは、「優しさとは強さの現れ」だということだ。人間、その人自身が強くないと、他人に心から優

しくできないからだ。その意志の強さというものを、池田は誰よりも兼ね備えている。そんな普段から穏やかな彼

だが、一度だけ激怒した場面があつた。忘れもしない、あれは創業して一年目くらいの時。——まだまだ会社として足元もおぼつかなく、日々の業務に追われ、毎日ただひたすら仕事をこなすことであつた。周りのことなんか無視して不機嫌な表情と、いやいなオーラをぶんぶん漂わせながら仕事をやる。なぜ開業したのか？なぜ俺はこんなキツイ思いして毎日追われているのか？ストレスにまみれ、仕事をやる感動すら忘れていた俺がいた。

そんなある日突然、怒鳴り声をあげせられた。

「いいかげんにしてくださいよ!! そんなんじゃない、(会社が)ダメになりますよ」。啞然とした。最初何が起きたのか分からなかった。池田の怒る姿を初めて見たというもあり、自分の思考回路がフリーズしたのだ。しかし、すぐに我に返った。その瞬間、目の前の霧がパツ

と晴れたような気がした。それ以来、幸い彼の怒鳴る場面には遭遇していないが(笑)、いろんな場面で迷っている自分に気づきを与え、正しい方向へと軌道修正してくれる。常に初心に戻らせてくれる、唯一の存在であることは間違いない。

「離見の見」とい

言葉にあるように、人間誰しも客観的に自分を見つめ、日々振り返ることが大切だと思う。そして、それでも気づかないことは気兼ねなく指摘し合うパートナーの存在が重要だと思ふ。俺は、池田という男に出会えて本当に幸せな人間だ。だから、コイツと一緒に夢を叶え、そして共に死ぬまで歩みたい。ヘタすりゃ、来世でも。

2009.11.26 PM10:56



(有)ハーツライジング 代表・山本英俊



